

5	40 (15) 45 (17)	利用者が食事・入浴など楽しむ事の出来る支援ができていない。	食事や入浴など、利用者様が好みを選択できる言葉かけや工夫・対応が出来る。	朝の体操時に職員が、全員に「今日は入浴いかがですか?」[全員入れますよ]などの声掛けをする。会話の中で、「今日は何が食べたい?」などを伺う様にする。又、脳生会や他のイベント時に何が食べたいかなどを伺い、ご利用者の意見を引き出す事を会議にて話し合い、好みの方を選択できる会話を実践し始めた。	6ヶ月
6	10(6)	運営に利用者・家族の意見が反映されていない。	運営に関するご家族の意見を面会時・その他に引き出す事が出来る。	職員・家族間のコミュニケーションを良くするよう勤め、面会時にご家族との会話の中で、意見や要望を伺う。又GH便りに「ご家族の忌憚りの無い意見を伺いたい」又それが「より良いGHの介護の向上に繋がる」事を掲載し発信していく。運営推進会議に出席を頂いたご家族に率直な意見を伺っていく。	10ヶ月
7	4(3)	運営推進会議に家族全員に声掛けせず、GHで家族代表を選び、参加して頂いている。	ご家族が自主的に参加できる運営推進会議とする事が出来る。	GH便りに運営推進会議の開催日を①冒頭の挨拶の中で②来月の行事予定として提示し、ご家族の皆様に出席を呼びかける記事を掲載する。又ご家族の面会時に職員一人ひとりが随時、声掛けや説明をしていく。	10ヶ月
8	11(7)	運営に職員の意見が反映されていない。	職員個々が運営に関する意見を建設的且つアサーティブに言う事が出来る。	玄関に職員の顔写真と氏名・職種を掲載した。名札をつけるなどして、仕事する立場としてのモチベーションを上げる。毎月の定例会議の議題についてはトップダウンでなく職員より運営に関する議題を募り、議題として取り上げる。又、今回の外部評価での改善事項を議題としてあげ、職員一人ひとりの建設的な意見を運営に反映していく。職員が落ち着いてきたら、定例会議の司会を回り持ちで実施していく。	10ヶ月
9	33 (12)	重度化や終末期に向けた支援が不十分である。	重度化(看取り)に関して、ご家族の意向・希望を確認し、支援する事が出来る。	看取り希望のご家族と、面会時に看取りの意向や希望を確認し、記録に残していく。終末期にはご家族がベッドサイドに泊まる事が出来ることを話すと共にその準備をする。(エンジェルセット・送りのケア・マット・毛布の用意)	10ヶ月
10	2(2)	地域との付き合いにおいてGHの専門性を発揮できていない。	GHの専門性を発揮した地域とのお付き合いが出来る。	年に1回、市の出張講座(今年度は、若いうちから「コツコツ丈夫な骨作り」骨密度測定30人程度)の開催を計画する。市・東町町会長と日程の調整をする。日程が決まり次第、町会長より、地域に回覧板を回して頂く。(講演題目・日時・参加人数など)GH職員が地域の皆様の接待をする。	10ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。